

港湾施設の 維持管理に 関する技術開発



令和元年度

第2回

実りある学舎

2月12日 水

14:00～16:00 (13:45受付開始)

講師

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 構造研究領域
構造研究グループ長 **加藤 絵万** 氏

会場

中国地方整備局 港湾空港部 会議室
(広島市中区東白島町14-15 NTTクレド白島ビル13F)

主催

中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所
公益社団法人 土木学会中国支部
土木学会継続教育(CPD)プログラム認定番号：JSCE19-1580
〔2.0単位〕
※CPDSプログラムにも認定されています。登録番号：559726
希望者は申し込みの際、事前にお伝えください。 〔2ユニット〕

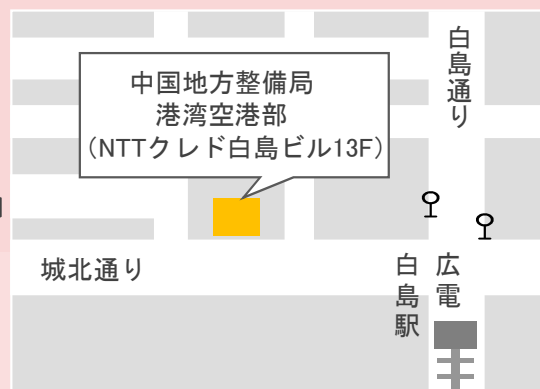
お申込
方法

広島技調HP「お問い合わせメール(※)」
又はFAX(裏面：申込用紙)でお申し込み下さい。
※広島技調HPにアクセスして頂き、「お問い合わせ」を
クリックして頂くと、「お問い合わせメール」が開きます。

申込〆切：2月4日(火)

広島技調

検索



お問い合わせ

広島港湾空港技術調査事務所 調査課
〒734-0011 広島市南区宇品海岸3-10-28 庁舎4F
TEL：082-250-1902 / FAX：082-250-1905

参加費
無料

定員
40名



令和元年度 第2回

実りある学舎



実りある学舎とは

最新技術に関する情報収集や発信の場として、また学識経験者や各分野のスペシャリストから知識を学び取り技術力の向上や効率的な事業展開につなげる場として、「実りある学舎」という講演会を毎年開催しています。

参加費無料でどなたでも参加して頂けますので、この機会にぜひご参加下さい。

講演概要

物流ネットワークを支える港湾施設の多くは高度経済成長期に集中的に整備され、現在、係留施設の3割が建設後50年以上経過しており、10年後には6割と急増することが予測されています。港湾施設の維持管理・更新費用を縮減・平準化することは大きな命題で、そのためには施設に必要とされる性能を適切に維持するための点検診断が不可欠です。

一方、少子高齢化に伴う厳しい財政制約の中、社会インフラ整備への投資は限られており、点検診断の実施が困難な状況で、課題となっております。

本講演では、港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造研究グループ長 加藤絵万 氏を講師にお迎えし、港湾施設の維持管理のうち特に点検診断に着目して、課題解決に向けた各種点検診断技術の開発・導入の検討について、最近の話題をご提供いたします。

また、事例として点検診断における水中ドローン（ROV）の適用性検証実験の様子についてもご紹介いたします。

／ 広島港湾空港技術調査事務所 行 (FAX : 082-250-1905)

【実りある学舎】参加申込用紙

氏名	住所 または 所属会社名	電話番号	CPDS希望者は ○をつけて ください

※個人情報は、本講演会の開催目的以外には使用しません。